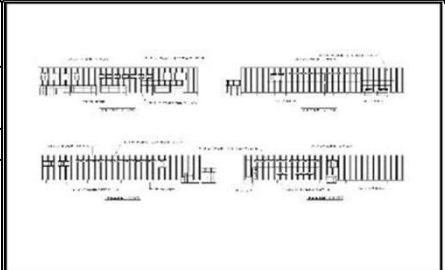




1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)コープさっぽろ中の島 建設工事	階数	2
建設地	札幌市豊平区中の島1条4丁目1-5他	構造	S造
用途地域	近隣商業地域、第1種住居地域、準防火地域	平均居住人員	5,200 人
建物用途	物販店	年間使用時間	4,380 時間/年(想定値)
竣工年	2019年9月 予定	評価の段階	実施設計段階評価
敷地面積	6,181 m <sup>2</sup>	評価の実施日	2019年4月8日
建築面積	2,212 m <sup>2</sup>	作成者	笹木 勇一
延床面積	4,092 m <sup>2</sup>	確認日	
		確認者	



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★ B+

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub> (温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%

②建築物の取組み 69%

③上記②以外のオンサイト手法 69%

④上記オフサイト手法 69%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

### 2-4 一次エネルギー消費量の評価

建物全体の[BEE][BEIm]= 0.67

### 2-5 中項目の評価 (バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 2.6

#### Q1 室内環境 Q1のスコア= 2.8

#### Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.0

#### Q3 室外環境 (敷地内) Q3のスコア= 1.8

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.5

#### LR1 エネルギー LR1のスコア= 4.2

#### LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 2.8

#### LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.4

### 3 設計上の配慮事項

<b>総合</b> 室内環境、サービス性能への配慮を行う。適切な量の駐輪場・駐車場を確保し来客の利便性に配慮、荷捌き車両の駐車スペースも確保するなど交通負荷の抑制にも心掛けている。	<b>A 省エネルギー</b> 外皮性能を上げるなど温熱環境に配慮。また、LED照明器具などの高効率機器を採用しエネルギー消費量低減に配慮している。
<b>B 省資源等</b> ビン・缶類などの減容化・減量化対策を計画し、廃棄物処理の抑制に心掛けた。	<b>C 緑化</b> 生垣を設け環境の保全や街並みの景観を考慮している。
	<b>D 雪処理</b> 特になし。

### 4 ほかの認証・評価制度の利用

(財)建築環境・省エネルギー機構のCASBEE認証	-	BELS認証	-	LEED認証	-
上記以外の認証・評価制度の利用					

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

**CASBEE札幌2016(ver.1.4)**  
 (仮称)コープさっぽろ中の島店 建設工事

■使用評価マニュアル: CASBEE\_Sapporo2016v1.0  
 ■評価ソフト: CASBEE札幌2016 (ver.1.4)  
 欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		建物全体-共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	重点評価項目	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>2.6</b>
<b>Q1 室内環境</b>					0.40		-	<b>2.8</b>
<b>1 音環境</b>				<b>3.0</b>	0.15	-	-	<b>3.0</b>
1.1 室内騒音レベル				<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1.2 遮音				<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能				3.0	1.00	-	-	
2 界壁遮音性能				-	-	-	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	-	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	-	-	
1.3 吸音				<b>3.0</b>	0.20	-	-	
<b>2 温熱環境</b>				<b>2.0</b>	0.35	-	-	<b>2.0</b>
2.1 室温制御				<b>3.1</b>	0.50	-	-	
1 室温				3.0	0.50	-	-	
2 外皮性能	省エネ	窓SC:0.68、窓U:4.65、外壁:0.64		4.0	0.17	-	-	
3 ゾーン別制御性				3.0	0.33	-	-	
2.2 湿度制御				<b>1.0</b>	0.20	-	-	
2.3 空調方式				1.0	0.30	-	-	
<b>3 光・視環境</b>				<b>3.0</b>	0.25	-	-	<b>3.0</b>
3.1 昼光利用				<b>3.0</b>	0.50	-	-	
1 昼光率				-	-	-	-	
2 方位別開口				-	-	-	-	
3 昼光利用設備	省エネ			3.0	1.00	-	-	
3.2 グレア対策				-	-	-	-	
1 昼光制御	省エネ			-	-	-	-	
2 映り込み対策				-	-	-	-	
3.3 照度				-	-	-	-	
3.4 照明制御				<b>3.0</b>	0.50	-	-	
<b>4 空気質環境</b>				<b>3.7</b>	0.25	-	-	<b>3.7</b>
4.1 発生源対策				<b>5.0</b>	0.50	-	-	
1 化学汚染物質		F☆☆☆☆建材を全面的に採用		5.0	1.00	-	-	
4.2 換気				<b>2.0</b>	0.30	-	-	
1 換気量				3.0	0.50	-	-	
2 自然換気性能				-	-	-	-	
3 取り入れ外気への配慮				1.0	0.50	-	-	
4.3 運用管理				<b>3.0</b>	0.20	-	-	
1 CO <sub>2</sub> の監視				3.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御				3.0	0.50	-	-	

Q2 サービス性能			—	0.30	-	-	3.0
<b>1 機能性</b>			<b>2.7</b>	0.40	-	-	<b>2.7</b>
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1	広さ・収納性			-			
2	高度情報通信設備対応			-			
3	バリアフリー計画		3.0	1.00			
<b>1.2 心理性・快適性</b>			<b>2.0</b>	0.30	-	-	
1	広さ感・景観 (天井高)		3.0	0.33			
2	リフレッシュスペース		2.0	0.33			
3	内装計画		1.0	0.33			
<b>1.3 維持管理</b>			<b>3.0</b>	0.30	-	-	
1	維持管理に配慮した設計		3.0	0.50			
2	維持管理用機能の確保		3.0	0.50			
<b>2 耐用性・信頼性</b>			<b>3.1</b>	0.30	-	-	<b>3.1</b>
<b>2.1 耐震・免震・制震・制振</b>			<b>3.0</b>	0.50	-	-	
1	耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80			
2	免震・制震・制振性能		3.0	0.20			
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>			<b>3.4</b>	0.30	-	-	
1	躯体材料の耐用年数		3.0	0.20			
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	省資源	ガルバリウム鋼板 30年以上	5.0	0.20		
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	省資源		3.0	0.10		
4	空調換気ダクトの更新必要間隔	省資源		3.0	0.10		
5	空調・給排水配管の更新必要間隔	省資源	主要用途2種についてC以上	4.0	0.20		
6	主要設備機器の更新必要間隔	省資源		2.0	0.20		
<b>2.4 信頼性</b>			<b>3.0</b>	0.20	-	-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20			
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20			
3	電気設備		3.0	0.20			
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20			
5	通信・情報設備		3.0	0.20			

<b>3 対応性・更新性</b>			<b>3.4</b>	0.30	-	-	3.4
<b>3.1 空間のゆとり</b>			<b>4.6</b>	0.30	-	-	
1 階高のゆとり		1F: 4.8mH、2F: 4.0mH	5.0	0.60	-	-	
2 空間の形状・自由さ		壁長さ比率: 0.103	4.0	0.40	-	-	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>			<b>3.0</b>	0.30	-	-	
<b>3.3 設備の更新性</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	0.30	-	-	1.8
<b>1 生物環境の保全と創出</b>	緑化		1.0	0.30	-	-	1.0
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>	緑化		2.0	0.40	-	-	2.0
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	雪処理		3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上	省資源 緑化		2.0	0.50	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>				-	-	-	3.5
<b>LR1 エネルギー</b>			-	0.40	-	-	4.2
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>	省エネ	BPI <sub>m</sub> : 0.78	5.0	0.20	-	-	5.0
<b>2 自然エネルギー利用</b>	省エネ		3.0	0.10	-	-	3.0
<b>3 設備システムの高効率化</b>	省エネ	[BEI][BEI <sub>m</sub> ] = 0.67 -	5.0	0.50	-	-	5.0
<b>4 効率的運用</b>			2.0	0.20	-	-	2.0
集合住宅以外の評価			2.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング	省エネ		3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制	省エネ		1.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1 モニタリング	省エネ		-	-	-	-	
4.2 運用管理体制	省エネ		-	-	-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	0.30	-	-	2.8
<b>1 水資源保護</b>			3.0	0.20	-	-	3.0
1.1 節水			3.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>			2.8	0.60	-	-	2.8
2.1 材料使用量の削減	省資源		2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用	省資源		3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	省資源	-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	省資源	-	1.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材	省資源		2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	省資源	躯体と仕上材が容易に分別可能	5.0	0.20	-	-	

<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>				<b>2.6</b>	0.20	-	-	2.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避				2.5	0.70	-	-	
1	消火剤	省資源		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	省資源		2.0	0.50	-	-	
3	冷媒	省資源		3.0	0.50	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>				-	0.30	-	-	3.4
<b>1 地球温暖化への配慮</b>		省資源	ライフサイクルCO2排出率が、69%	4.2	0.33	-	-	4.2
<b>2 地域環境への配慮</b>				3.2	0.33	-	-	3.2
2.1 大気汚染防止		省資源		3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善		省資源 熱化 蓄処理		3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				4.0	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減	省資源		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制		適切な量の駐車スペースを確保。荷捌き用車両の駐車施設の確保。	5.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制	省資源 蓄処理	ゴミの種類や量の推計。ビン・缶類などの減容化・減量化対策を計画している。	5.0	0.25	-	-	
<b>3 周辺環境への配慮</b>				2.8	0.33	-	-	2.8
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	
1	騒音			3.0	1.00	-	-	
2	振動			-	-	-	-	
3	悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制				3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制			-	-	-	-	
3	日照阻害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制				2.3	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			2.0	0.70	-	-	
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency

# CASBEE札幌



## 重点項目 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE\_Sapporo2016v1.0

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2016(ver.1.4)

1 建物概要		BEE	1.1	BEEランク	B <sup>+</sup>
建物名称	(仮称)コープさっぽろ中の島 建設工事				
建物用途	物販店				
延床面積	4,092.0 m <sup>2</sup>				

2 重点項目への取り組み		レーダーチャート
地球温暖化対策	<b>最重点項目</b> <b>省エネルギー</b>	<p>省エネルギー性能</p> <p>省資源等への取組</p> <p>緑化への取組</p> <p>雪処理</p> <p>★1=スコア(最低点~最高点)20%以下                      ★2=スコア(最低点~最高点)20%~40%以下                      ★3=スコア(最低点~最高点)40%~60%以下                      ★4=スコア(最低点~最高点)60%~80%以下                      ★5=スコア(最低点~最高点)80%以上</p>
	省資源等	
	緑化	
	雪処理	

3. 重点項目のCASBEEスコア						合計		18.9点 / 23.1点	
<b>A 省エネルギー</b> ( 最高点 23.1 最低点 7.2 )									
Q1 温熱環境	スコア	0.6	/0.6	LR1 建物外皮の熱負荷抑制	スコア	4.0	/4.0		
Q1 光・視環境	スコア	1.5	/2.5	LR1 自然エネルギー利用	スコア	1.2	/2.0		
				LR1 設備システムの高効率化	スコア	10.0	/10.0		
				LR1 効率的運用	スコア	1.6	/4.0		
<b>B 省資源等</b> ( 最高点 23.7 最低点 7.7 )						合計		14.7点 / 23.7点	
Q2 耐用性・信頼性	スコア	0.7	/1.1	LR2 非再生性資源の使用量削減	スコア	5.0	/9.0		
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	0.9	/2.3	LR2 汚染物質含有材料の使用回避	スコア	1.1	/1.9		
				LR3 地球温暖化への配慮	スコア	4.2	/5.0		
				LR3 地域環境への配慮	スコア	2.8	/4.4		
<b>C 緑化</b> ( 最高点 15.3 最低点 3.1 )						合計		5.7点 / 15.3点	
Q3 生物環境の保全と創出	スコア	0.9	/4.5	LR3 地域環境への配慮	スコア	1.5	/2.5		
Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア	2.4	/6.0						
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	0.9	/2.3						
<b>D 雪処理</b> ( 最高点 3.0 最低点 0 )						合計		0.0点 / 3.0点	
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	0.0	/1.0	LR3 地域環境への配慮	スコア	0.0	/2.0		

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■重点項目の**最高点**は、各評価項目で**レベル5**で評価された場合の点数  
 ■重点項目の**最低点**は、各評価項目で**レベル1**で評価された場合の点数